



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 ネボン株式会社

コード番号 7985 URL <http://www.nepon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 福田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 清家 元

TEL 03-3409-3159

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,820	50.0	229	—	207	—	90	—
25年3月期第2四半期	2,546	8.1	△92	—	△116	—	△101	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.52	—
25年3月期第2四半期	△8.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,397	1,381	21.6	115.34
25年3月期	5,229	1,302	24.9	108.70

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,381百万円 25年3月期 1,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	21.1	350	49.3	300	57.2	150	△3.0	12.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,028,480 株	25年3月期	12,028,480 株
26年3月期2Q	46,981 株	25年3月期	46,852 株
26年3月期2Q	11,981,517 株	25年3月期2Q	11,982,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和により円安や株価の上昇となり、景気回復が進展しており、さらに、東京オリンピックの招致も決まり、今後の経済成長にも期待がもてます。

このような経営環境の中で、当社は中期経営計画に沿って『お客様が求める環境作りのために私たち(社員)はお客様の声を起点に農と住の明日を創造する会社を目指します。』を事業骨子とし、引き続き販売力の強化や新製品の開発に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間において、当社が主力としております熟機器事業の農用機器は、農林水産省の燃油高騰対策事業や震災復興事業の進行により、主力機器の出荷が堅調に伸び、当初計画していた売上を大幅に上回る結果となりました。その結果、売上高は34億5千1百万円(前年同期比58.9%増)となりました。

衛生機器事業においては、積極的な拡販活動に注力しましたが、簡易水洗便器の市場縮小の影響等により、売上高は3億3千3百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

その他事業においては、農産物販売の推進活動に注力した結果、売上高は3千5百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

以上の結果により、売上高は38億2千万円(前年同期比50.0%増)となりました。

損益面においては、売上高の増加等により、営業利益は2億2千9百万円(前年同期9千2百万円の営業損失)と前年同期に比べ3億2千1百万円の改善となり、経常利益は2億7百万円(前年同期1億1千6百万円の経常損失)と前年同期に比べ3億2千4百万円の改善となりました。

また、四半期純利益は9千万円(前年同期1億1百万円の四半期純損失)と前年同期に比べ1億9千1百万円の改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ、未収入金の減少等による流動資産の「その他」が8千8百万円減少しましたが、棚卸資産が5億2千1百万円、売上債権が4億4千万円、現金及び預金が2億9千9百万円増加したことにより、11億7千1百万円の増加となりました。

固定資産は、前事業年度末に比べ、無形固定資産が2千4百万円増加しましたが、有形固定資産が1千8百万円、投資その他の資産の「その他」が、投資有価証券の減損等により9百万円減少したことにより、3百万円の減少となりました。

以上の結果、前事業年度末に比べ、総資産は11億6千8百万円増加し、63億9千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ、仕入債務が7億8千2百万円、未払法人税等が5千1百万円増加したこと等により、8億3千2百万円の増加となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ、社債を発行したことにより1億6千万円、長期借入金が6千9百万円増加したこと等により、2億5千6百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産の部は、前事業年度末に比べ、四半期純利益を9千万円計上し、剰余金の配当を1千1百万円行ったこと等により、7千9百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億2千1百万円の収入(前年同期4億3千6百万円の支出)となりました。

その主な要因は、税引前四半期純利益の計上2億2百万円、仕入債務の増加7億8千2百万円により資金が増加し、売上債権の増加4億3千9百万円、たな卸資産の増加5億2千1百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7千3百万円の支出(前年同期8千4百万円の支出)となりました。

その主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出7千6百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億4千9百万円の収入(前年同期5億1千万円の収入)となりました。

その主な要因は、社債の発行による収入2億円、借入金の純増による収入6千6百万円であります。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、10億2千3百万円(前年同期6億8千8百万円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年10月9日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	809,030	1,108,166
受取手形及び売掛金	1,537,711	1,978,166
商品及び製品	536,902	856,126
仕掛品	126,969	185,834
原材料及び貯蔵品	545,349	689,167
その他	224,230	136,171
貸倒引当金	△17,083	△19,135
流動資産合計	3,763,108	4,934,497
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	537,884	532,939
その他(純額)	526,531	512,537
有形固定資産合計	1,064,415	1,045,477
無形固定資産		
	89,713	114,277
投資その他の資産		
その他	354,175	344,233
貸倒引当金	△41,905	△40,746
投資その他の資産合計	312,270	303,487
固定資産合計	1,466,399	1,463,242
資産合計	5,229,508	6,397,739
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,725	1,732,224
1年内償還予定の社債	—	40,000
短期借入金	1,021,907	1,019,316
未払法人税等	53,856	105,245
その他	287,211	248,403
流動負債合計	2,312,700	3,145,189
固定負債		
社債	—	160,000
長期借入金	836,113	905,377
退職給付引当金	679,631	706,878
役員退職慰労引当金	68,708	72,958
資産除去債務	18,695	14,080
その他	11,311	11,311
固定負債合計	1,614,460	1,870,605
負債合計	3,927,160	5,015,794

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,424	601,424
資本剰余金	480,463	480,463
利益剰余金	228,278	306,396
自己株式	△7,378	△7,414
株主資本合計	1,302,787	1,380,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△440	1,076
評価・換算差額等合計	△440	1,076
純資産合計	1,302,347	1,381,945
負債純資産合計	5,229,508	6,397,739

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,546,723	3,820,229
売上原価	1,646,371	2,536,431
売上総利益	900,351	1,283,798
販売費及び一般管理費	993,016	1,054,756
営業利益又は営業損失(△)	△92,665	229,041
営業外収益		
受取利息	242	198
受取配当金	999	1,067
受取地代家賃	4,200	4,200
その他	4,204	3,813
営業外収益合計	9,647	9,279
営業外費用		
支払利息	30,402	24,898
その他	3,124	5,914
営業外費用合計	33,526	30,812
経常利益又は経常損失(△)	△116,544	207,507
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	3,407
特別利益合計	—	3,407
特別損失		
固定資産除却損	737	2,078
投資有価証券評価損	—	6,240
特別損失合計	737	8,318
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△117,282	202,596
法人税、住民税及び事業税	10,430	99,454
法人税等調整額	△26,391	13,043
法人税等合計	△15,960	112,497
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△101,321	90,099

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△117,282	202,596
減価償却費	43,243	58,224
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43,768	31,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	250	4,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,601	892
受取利息及び受取配当金	△1,242	△1,266
支払利息	30,402	24,898
有形固定資産除却損	737	2,078
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,240
資産除去債務戻入益	—	△3,407
売上債権の増減額(△は増加)	△273,890	△439,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,319	△521,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△184,136	782,498
その他	104,939	52,019
小計	△387,929	199,221
利息及び配当金の受取額	1,241	1,266
利息の支払額	△29,707	△24,655
法人税等の支払額	△20,527	△53,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	△436,923	121,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,000	△62,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△58,852	△46,790
無形固定資産の取得による支出	△464	△29,749
保険積立金の解約による収入	1,368	—
保険積立金の積立による支出	△754	△754
その他	3,866	5,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,837	△73,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	△200,000
長期借入れによる収入	900,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△289,544	△283,327
社債の発行による収入	—	200,000
自己株式の取得による支出	△82	△35
配当金の支払額	—	△11,809
その他	—	△5,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	510,373	249,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,387	297,136
現金及び現金同等物の期首残高	700,148	726,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	688,761	1,023,166

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。